

九州大学 大型計算機センターニュース

No.355

1987. 7. 7

福岡市東区箱崎6丁目10番1号
九州大学大型計算機センター
広報教育室(TEL092-641-1101)
内線 2505

目 次

1. 第5回九州大学大型計算機センター計算機科学研究集会 発表者募集について	1
2. 機器構成の変更に伴う計算サービスの休止について	2
3. 電気容量の増量工事に伴う計算サービスの停止について	2
4. 圧縮印刷プログラムCOMPACTの公開	3
5. N-1ネットワーク使用料金の一部無料化について	6
6. 夏期休暇中のプログラム相談について	6
7. 大学間ネットワーク講習会の開催について	7
8. TSS初級講習会の開催について	7

1. 第5回九州大学大型計算機センター計算機科学研究集会発表者募集について

本センターでは、昨年に引き続き、標記研究会を下記のように開催します。この研究会の目的は、センター利用者にとって有益な研究成果あるいは計算機科学への問題提起を含んだ研究の発表と討論の場を提供し、センター利用者と計算機科学と研究者との交流の接点をつくることにより、計算機利用技術の向上を図ろうとするものです。この研究会にセンター利用者の方々の積極的な研究発表をお願い致します。

日 時 昭和62年11月25日(水) 10:30~17:00

場 所 九州大学大型計算機センター多目的講習室(3階)

発表申込み 発表審査のため、発表内容をA4判用紙1枚程度にまとめ、9月19日(土)までに提出してください。このとき、発表者の氏名、所属、電話番号を別紙に記したものを添えてください。

発表審査 申込みいただいた発表内容については、本研究会の趣旨に沿っているかどうかを審査し、発表していただくかどうかを9月28日(月)までに御連絡します。

発表時間 発表時間については、質疑応答を含め30分を予定していますが、発表件数によって多少調整することがあります。

論文提出 御発表いただいた研究は、九州大学大型計算機センター計算機科学研究報告とし

て昭和 63 年 2 月末に発行することとしています。このための論文(カメラ・レディ・フォーム 10 枚程度)を昭和 63 年 1 月 30 日(土)までに提出していただくこととなりますが、その要領は発表決定後お知らせします。

申込み先 〒812 福岡市東区箱崎 6-10-1
九州大学大型計算機センター 松尾文碩
電話 092-641-1101 (内線 2507)

2. 機器構成の変更に伴う計算サービスの休止について

センターニュース №352 でお知らせしましたように、機器構成の変更に伴って下記のとおり計算サービスを休止しますのでご注意ください。なお、8月7日までに入力したジョブはすべて強制出力しますのでご了承ください。

記

8月7日(金)	8日(土) ~ 17日(月)	18日(火)
計算サービスは通常どおり	機器構成変更のため 計算サービス休止	計算サービスは通常どおり

(第一業務掛 電(内) 2517)

3. 電気容量の増量工事に伴う計算サービスの停止について

M780, 及び VP200 の導入に先だち、電気容量の増量工事を下記のとおり行います。なお、工事期間中は計算サービスは休止しますのでご了承ください。

記

7月 17日(金)	18日(土) 19日(日) 20日(月)	21日(火)
計算サービスは通常通り	電気容量の増量工事のため 計算サービス休止	計算サービスは通常通り

(第一業務掛 電(内) 2517)

4. 圧縮印刷プログラムCOMPACTの公開

7月6日(月)より標記コマンドを公開します。COMPACTは、各種の出力リストを日本語ラインプリンタに縮刷するユーティリティプログラムで、以前のRDLISTコマンドの機能を包含します。詳細については、マニュアル[1]を参照して下さい。

・TSS

1) 入力形式

コマンド	オペランド
COMPACT	データセット名 [TYPE ({T1 T2 T3 T4 T5})] [CTYPE ({S L})] [CFORM ({G M})] [CSET ({CSET1 CSET2 CSET3 CSET4})] [CPI ({16 20})] [CC ({YES NO})] [BLANK ({YES NO})] [SHIFT ({YES NO})] [SY (O S K U)]

2) オペランドの説明

データセット名：印刷したいデータセット名を指定する。区分編成の時には、メンバ名まで指定しなければならない。

TYPE : 出力リストを各適用用紙に縮刷する型(縮刷タイプ)を指定する。省略するとT2が指定されたものとする。
 T1 - 通常使用用紙に出力リストを270度回転して、上下2面に縮刷する。
 T2 - 通常使用用紙に出力リストを270度回転して、1面に縮刷する。
 T3 - 通常使用用紙に出力リストを回転せずに、左右2面に縮刷する。
 T4 - 通常使用用紙に出力リストを回転せずに、1面に縮刷する。
 T5 - 通常使用用紙に出力リストを回転せずに、4面に縮刷する。

CTYPE : 出力する文字タイプを指定する。省略時はSである。
 S - COMPACTの縮刷文字を使用する。
 L - JEF半角文字を使用する。

CFORM : 出力する文字形を指定する。省略時はGである。
 G - 印字文字形に、ゴシック体を使用する。
 M - 印字文字形に、明朝体を使用する。

CSET : EBCDICの文字セットを指定する。省略時はCSET1である。
 CSET1 - 英数字、特殊記号を含んだEBCDICの文字セットを適用する。
 CSET2 - 英数字、特殊記号、英小文字を含んだEBCDICの文字セットを適用する。

CSET3 - 英数字, 特殊記号, カタカナを含んだEBCDICの文字セットを適用する.

CSET4 - 英数字, 特殊記号, 英小文字, ASCIIを含んだEBCDICの文字セットを適用する.

CPI : 縮刷するEBCDIC文字の文字間隔を指定する. 省略時は16である.
16 - EBCDIC文字の文字間隔を16CPIにしたい場合に指定する.
このとき, 漢字は8CPI (9ポイント) で印字される.
20 - EBCDIC文字の文字間隔を20CPIにしたい場合に指定する.
このとき, 漢字は10CPI (7ポイント) で印字される.

CC : 印刷制御文字が付いているか否かを指定する. 省略時はYESである.
YES - 制御文字付きである場合に指定する.
NO - 制御文字付きでない場合に指定する.

BLANK : 縮刷できない文字があった場合, ブランクにするか, □にするかを指定する.
省略時はNOである.
YES - ブランクにする.
NO - □にする.

SHIFT : 漢字用シフトコードがあるか否かを指定する. 省略時はYESである.
YES - 漢字用シフトコードがある.
NO - 漢字用シフトコードがない.

SY : 出力クラス (O, S, K, U) を指定する. 省略時はOである.

オペランドの指定により次表の配置で印刷される.

縮刷配置図

CPI TYPE	16CPI	20CPI	面数
T1	152桁×52行	指定不可	2面
T2	152桁×108行	指定不可	1面
T3	100桁×80行	126桁×80行	2面
T4	216桁×80行	270桁×80行	1面
T5	指定不可	126桁×57行	4面

3) 使用例

COMPACT TEST, DATA TYPE(T3) CPI(20) SY(U)

・バッチ処理

1) 形式

プロシジャ名	記号パラメータ
COMPACT	<pre>[PARM= ' [{ T1 T2 T3 T4 T5 }] [, CTYPE= { S L }] [, CFORM= { G M }] [, { CSET1 CSET2 CSET3 CSET4 }] [, CPI= { 16 20 }] [, CC= { YES NO }] [, { BLANK NOBLANK }] [, { SHIFT NOSHIFT }] ']</pre>

2) 記号パラメータの説明

TSSのオペランド説明を参照のこと。

3) プロシジャステップ

COMPACT

4) 関連するDD名

UTYIN.....印刷すべきデータセット用

5) 使用例

```
//A79999AC JOB CLASS=A
// EXEC COMPACT, PARM= ' T3, CSET2, CPI=16 '
//UTYIN DD DSN=A79999A, COMPA, DATA, DISP=SHR
//
```

参考文献

1. 計算機マニュアル FACOM OSIV COMPACT使用手引書
(70SP-6090-2), 富士通㈱.

(ライブラリ室 電(内) 2508)

5. N-1 ネットワーク使用料金の一部無料化について

学術情報センターでは4カ年で国立25大学を高速デジタル回線で結ぶ、学術情報ネットワークの構築を昨年度から推進しています。今年5月1日から、東大、名大、京大、阪大の各大型計算機センターが、この学術情報ネットワークによってN-1ネットワークの運用を行っています。

学術情報センターではこのネットワークの利用促進を計るため、通信料金は学術情報センターで当面負担することになっています。ネットワーク未加入の3センターと加入センター間の接続は、従来どおりNTTのDDX網を利用しますが、この通信料金についても学術情報センターが負担することになりました。

これにより、6月15日より京大センター、6月25日より東大、名大センターとの相互のネットワーク料金が無料になりました。阪大センターについてはシステムの都合上、無料化は10月以降になる予定です。

なお、学術情報ネットワーク加入センターとは、下記の学術情報センターの保守時間には接続できませんのでご了承下さい。

- ① 月末処理日（月末が土、休日の場合は前日） 12時以降
- ② 定期保守日（偶数月の第2土曜日） 14時以降

当面、変則的な運用となりますが、62年度中には九大、北大、東北大センターも学術情報ネットワークに加入予定です（九大は63年1月予定）。

なお、N-1ネットワークの利用方法は従来どおりで変更はありません。

ネットワーク室（電（内）2518）

6. 夏期休暇中のプログラム相談について

夏期休暇中は、下記によりプログラム相談を行いますのでご注意ください。

記

- 期 間 7月11日（土）～9月10日（木）
（但し、7月18日（土）～20日（月）
8月8日（土）～17日（月）を除く）
- 曜 日 月曜日・水曜日・金曜日
- 時 間 午後1時～5時

（共同利用掛 電（内）2505）

7. 大学間ネットワーク講習会の開催について

標記講習会を下記の要領で開催いたします。受講希望者は、共同利用掛（電（内）2505）まで申し込み期間内にお申し込みください。

記

- 日 時 7月23日（木） 10時～16時
- 対 象 プログラミング経験者
- 募集人員 30名
- 内 容 大学間ネットワークを経由したTSS（会話型処理）やRJE（バッチ処理）、ファイル転送など、NVT（ネットワーク仮想端末）による他大型計算機センターのデータベース利用（東大のCAS，阪大のBIOSIS，学術情報センターのデータベース）の実演。
- 会 場 九州大学大型計算機センター・多目的講習室（3階）
- 講 師 第二業務掛 永井 徳仁
- テキスト センターで用意
- 時間割 10:00 12:00 13:30 16:00

NVT, RJEの 利用法	昼 休 み	実 習
------------------	-------------	--------

- 申し込み期間 7月13日（月）～16日（木）
（なお、募集定員に達し次第締め切ります。）

8. TSS初級講習会の開催について

標記講習会を下記の要領で開催いたします。受講希望者は、共同利用掛（電（内）2505）まで申し込み期間内にお申し込みください。なお、この講習会は、6月に行われたTSS初級講習会と同じ内容です。

記

- 日 時 8月5日（水）～6日（木） 10時～16時30分
- 対 象 TSS初心者
- 募集人員 50名
- 内 容 TSSを利用したプログラム，テキストの編集法及びプログラムの実行など会話型処理の基本

• 会 場 九州大学大型計算機センター・多目的講習室（3階）

• 講 師 研究開発部 松延 栄治

• テキスト センターで用意

• 時 間 割 10:00 12:00 13:30 16:30

1日目	TSSの概要 プログラムの編集	昼 休 み	実 習
-----	--------------------	-------------	--------

2日目	プログラムの実行 FIBジョブの依頼法	昼 休 み	実 習
-----	------------------------	-------------	--------

• 申し込み期間 7月22日（水）～28日（火）

（なお、募集定員に達し次第締め切ります。）